



少しでも早く、
いつもどおり正確に。
消防操法大会

2年に1回開催される消防操法大会では、消火活動の技術を競い合います。日頃の訓練の成果を披露する晴れ舞台に団員の顔は真剣そのもの。家庭や職場では見せない、もう一つの顔がそこにはあります。

団員は、操法大会に向け動作と手順を繰り返し訓練し、チームワークと技術を磨きます。そこで培われた消防力が、火災発生時の地域住民の生命と財産を守ることに繋がります。

消防団員数
(平成29年2月1日現在)

458人
(うち女性消防隊15人)
志布志市消防団条例定数：495人
定員充足率：92.5%
※定数：消防団活動を円滑に遂行するために必要な人数

消防団の主な役割

平常時

各種訓練 各種点検 予防活動 啓発活動

年2回の火災予防週間には、地域を巡回して火災予防の啓発を行います。住宅用火災警報器の設置の呼びかけや消火器の点検等も行っています。

災害時

消火活動 捜索活動 風水害対策 後方支援活動

火災発生時は、仕事に支障のない範囲で現場活動を行います。また行方不明者などの捜索活動の支援も消防団の役割です。

志布志市消防団 組織図

志布志市消防団長

女性消防隊

有明方面隊

方面隊長

方面副隊長

- 第一分団 (伊崎田校区)
- 第二分団 (有明・通山校区)
- 第三分団 (蓬原・原田校区、野神校区の東原東校区、山重校区)
- 第四分団 (東原東を除く野神校区、山重校区)

志布志方面隊

方面隊長

方面副隊長

- 中央分団
- 安楽分団
- 夏井陣岳分団
- 帖五区分分団
- 森山分団
- 田之浦四浦分団
- 潤ヶ野八野分団

松山方面隊

方面隊長

方面副隊長

- 新橋分団
- 泰野分団
- 尾野見分団



消防団

まち・地域・家族を守りたい

災害が発生したとき、いち早く現場に駆け付けてくれる頼れる存在、消防団。団員は、普段はそれぞれ自分の仕事をしながら、訓練等を行い「いざ」というときに備えています。今月の特集は、くらしの安全・安心を守る消防団の活動と志布志市の防災について考えます。



志布志市の消防団

消防団とは何か。本市の現状は――。
まずは知ることから始めよう。



「私たち消防団は自分たちのまちは、自分たちで守るという高い志を持つ者が集まったボランティアです。地域住民の生命と財産を守るという使命を果たすため日々活動しています」と消防団について話すのは市消防団長の末村光博さんです。

消防団員は、消防署に勤務している消防職員とは異なり、自分の仕事を持ちながら活動します。火災時の消火活動はもちろん、地震や風水害などの災害発生時は、警戒活動や応急救護活動に自宅や職場から駆けつけます。

志布志市の消防団は、松山志布志、有明の3つの地区に



インタビュー Interview
志布志市消防団長
みつひろ
末村 光博 さん
(志布志町内之倉)
消防団歴41年の大ベテラン。家業の農業のかたわら消防団活動に尽力されています。

それぞれ方面隊を置く「方面隊方式」をとっています。各方面隊には地区ごとに分団や分隊が設置され、消防詰所などを拠点に活動しています。

また、平成26年7月には女性消防隊も発足しています。小さな子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に火災予防を呼びかけるため、保育園や幼稚園の避難訓練や祭り等のイベント

それでは方面隊を置く「方面隊方式」をとっています。各方面隊には地区ごとに分団や分隊が設置され、消防詰所などを拠点に活動しています。

また、平成26年7月には女性消防隊も発足しています。小さな子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に火災予防を呼びかけるため、保育園や幼稚園の避難訓練や祭り等のイベント

「団員を支えているのは、家族の協力。さらには市民の皆さんの温かいご支援によるものです。消防団員はこのことを肝に銘じ、地域の皆さんと共に自分たちのまち、地域、家族を守っていきます。」と末村さんは力強く話します。